

きりやま
切山 地すべり対策事業
(相楽郡笠置町切山)

◎事業目的

笠置町切山地区は、木津川右岸の北側斜面に位置し、上部にある湿地帯、区域末端にある隆起部、また、地下水位が高いといった典型的な地すべりの特徴を有しています。地すべりが発生した場合、第一次緊急輸送路である国道163号と一級河川木津川に近接していることから、被害は地区内に留まらず広範囲に影響を与える恐れがあり、早急に対策する必要があります。


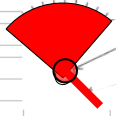



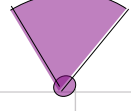
平成28年度は、水路工・工事用道路工を実施する予定です。

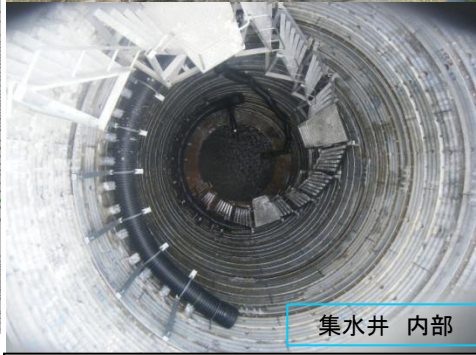
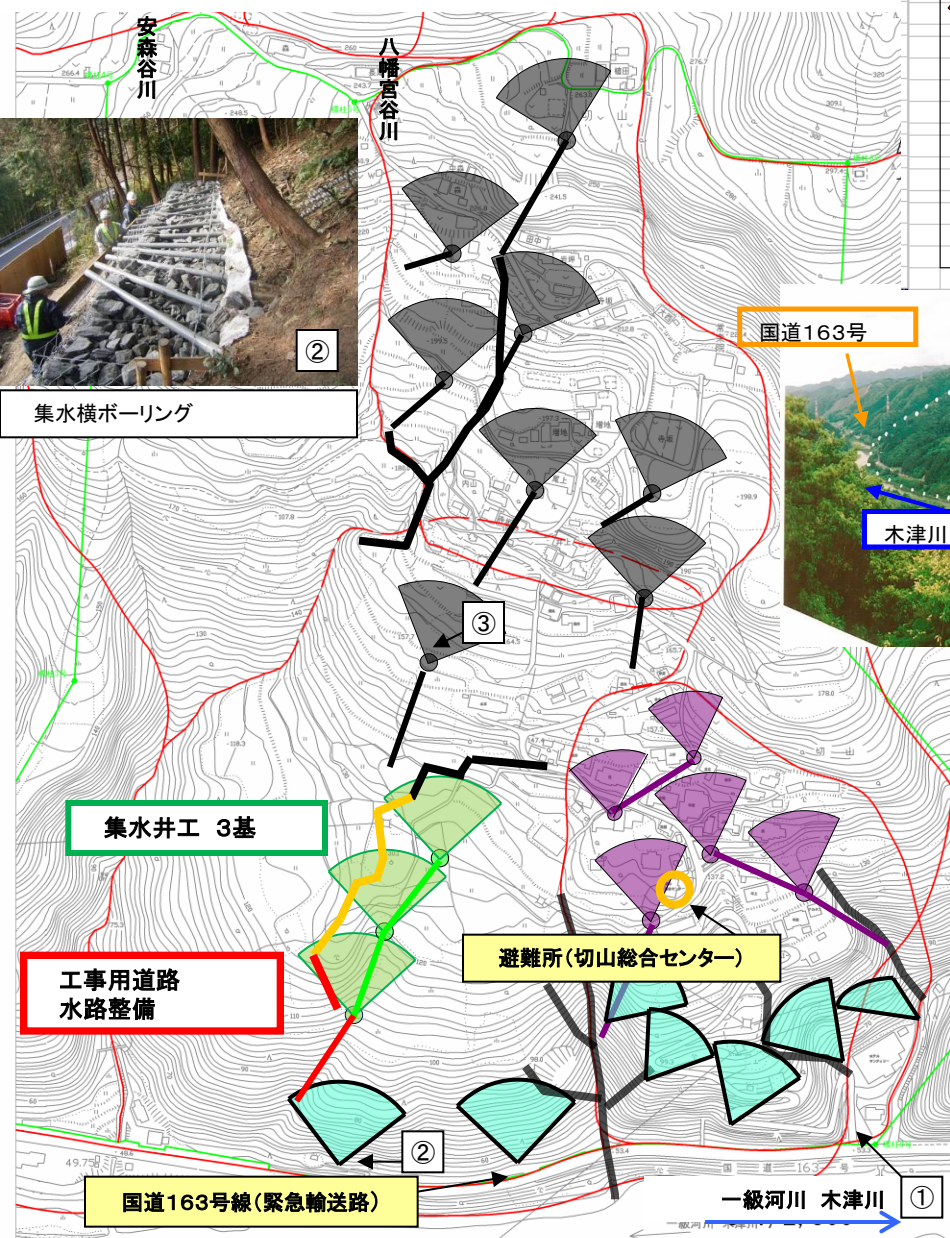
◎事業概要

全体計画	H27までの実績	H28事業費
事業期間: H14～H31(予定) 事業概要: 集水井工 11基 集水横ボーリング工 7基 事業費: 1,500百万円	事業概要: 調査、設計、集水井工 8基 集水横ボーリング工 7基 事業費: 1,140百万円	事業概要: 工事用道路工 水路工 事業費: 20百万円

◎事業効果

地すべり災害から保全対象の人家36戸、公民館(避難場所)、緊急輸送道路等の安全を確保します。

凡 例	
集水井工	H14～H26 
	H27 
	H28 
	H29以降 
集水横ボーリング工	別事業(災害関連) 



集水井 H=20m